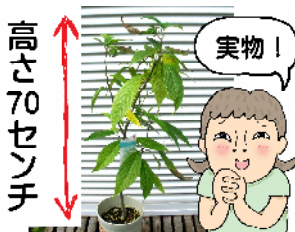


～花と緑の香りめぐり(おうち編1)～

イランイラン栽培日記

南の国の花の香りを自宅で体験しました



8月某日：イランイラン購入しました

イランイランといえばおなじみの精油ですが、植物自体はちょっと珍しく、植物園で見かける程度です。ところが、先日、練馬区の「オザキフラワーパーク」を訪ねた際、3,300円で売られていました。少し悩んで、買うことに決めました。

2日後：緑色の若い花、まだ香りません

木に若い緑色の花がついていたので、香りを嗅いでみました。けれど、よくわかりません。

「花の付け根に、褐色のスポットが現れる頃、最も豊潤で、うっとりとおぼろげな香りが漂います」と本に載っていました。熟成を待ちたいと思います。



3日後：黄色くなって、香りができました

花に顔をくっつけたら、少し香りを感じました。たとえるならば、子どものころ遊んだりカチャ人形です。若いイランイランは、不思議と、プラスチックのような人工的なにおいがします。この段階では、精油の甘い要素は全くありません。

4日目：落っこちた！

なんということでしょう、通り雨で花が落ちてしまいました。香りを楽しみにしていたのに、がっかりです。

ちなみに、お花の内側はこんなふう。雄しべや雌しべは、茶色なんですね。イランイランは、花がうつむいて咲くので、ちゃんと見たことがありませんでした。



6日目：すばらしい香りです

落ちた花を小皿に活けたら、しばらくして香りを放ち始めました。精油のイランイランの甘い雰囲気に加え、ユリやきゅうりのような要素も感じられます。

イランイランは、10月頃まで咲くそうです。お花と一緒に、サロンでお待ちしております。

マスク着用をお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、お客様には店内でマスクをお付けくださいますようお願い致します。

アロマセラピストも、ご来店からお帰りまでマスクを着用させていただきます。ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

おすすめアロマグッズ No.83



アーユルタイム・ラベンダー&イランイラン(バスクリン)

ラベンダーとイランイランの精油が配合された入浴剤。ほかにも岩塩やセサミオイルなど、天然の素材が使われています。

香りの印象は、昔ながらのバスクリンと精油のブレンドという感じ。でもそれが思いのほかいいのです。精油は全体に奥行きを与え、バスクリンは香りの持ちをよくし、お互いの長所を活かしています。お風呂上がりも、ほのかな残り香を楽しめました。

編集後記

おかげ様で、イランイランを迎えてから、庭に出るのが楽しくなりました。

けれど、記事にも書いた通り、花が落ちやすいのが悩みです。この後、もう一輪、香りがする前に落ちてしまいました。

原因はどうやら、今年の猛暑のよう。南の国の植物も音を上げる暑さ、そろそろ落ち着いてほしいです。